

## ヌッセルト・レイノルズ賞を受賞して *Some Feelings for Receiving Nusselt-Reynolds Prize*

庄司 正弘 (産業技術総合研究所)  
*Masahiro SHOJI (AIST-Tsukuba)*

はからずもこのたび第6回実験熱流体熱力学国際会議 (the Sixth International Conference on Experimental Heat Transfer, Fluid Mechanics and Thermodynamics) の席でヌッセルト・レイノルズ賞を授った。なんともお恐れ多い名の賞であるが、大変名誉なことであり、有り難く嬉しく思っている。受賞に際し支援いただいた海外の6名の研究者、その取り纏めと推薦のお世話をしてくださった笠木伸英先生(東大)に心より御礼申し上げる。

本誌編集氏より感想を一言書くようにとお仰せである。ほんとうに一言で許されるのであれば、受賞の際の返礼に尽きている。開会式における挨拶であったので、文面は事前に準備した。偽らない気持ちを述べたので、前後の儀礼的文言を除いた部分をここに載せさせていただく。

### 受賞に対する返礼文要旨：

I am really glad having received this honorable prize this time. I would like to extend my sincere appreciation and gratitude to the Award committee and the board members, and also to Prof. Kasagi and other scientists who kindly supported for my nomination to this prize. I received this prize as given not only to me but also to my co-workers including my students, colleagues and friends, who have helped me and encouraged me in doing researches for a long period over the past thirty years. At this occasion, I would like to extend my thanks to all of them. Frankly, I am wondering even now if my academic achievements really deserve the honor given me today as I know many respectable competent scientists in the world who have sufficient achievements and contributions. Fortunately, however, as I am still continuing the researches at the national institute even after the retirement from the University of Tokyo, I will make efforts further so as to be fully worthy of this honor.

受賞講演では、自分自身の研究の前に、わが国沸騰の先達として特に抜山四郎先生と甲藤好朗先生の事績および話題を紹介させていただいた。この講演の準備をする過程で、抜山先生の語録の中に、日頃感じていることに似たもののあることを知った。「研究者は一生に一つでよいから本当に良い研究をすべきである」とのお言葉である。思えば若い頃、甲藤先生からもそうしたことを言われたことがある。「塵も積もれば山となる」との格言があるが、しかし「塵が積もっても、塵でしかない」あるいは「塵が積もれば、ゴミとなる」こともまた真の面がある。然るに自分の姿はどうであったか。評価主義をことさらのように気にして、いたずらに数的成果だけを目指してこなかったであろうか。特に最近は多忙に事寄せて、研究と称しつつ取り敢えずの処理ばかりしてきたようにも思う。反省しきりであるが、凡人のなせる業、この年になってはもはや如何ともし難い。そこで身近にいる学生に折に触れ教訓めいたことばかり口にしてはいる。年をとると反省や愚痴ばかりとなるのはまことに悲しく寂しいものである。

なお、編集氏から原稿には写真を入れるようにとのことであった。受賞時の写真は持ち合わせないので、頂いた盾の写真で代用させていただく。

